

東京清掃労働組合

一組総支部通信

一組総支部
事務局
一組本庁支部内
fax6238-0504
tel6238-0502
e-mail
seisou-ichkumi
@w7.dion.ne.jp

執行委員長
岡沢 徹
副委員長
教宣担当
内山健司
編集
教宣部長
福田雄一

トレーニングセンター設置

人材育成の計画を明確に



新江東清掃工場



溶接作業の実務

組織集會開催

六月七日より九日まで、東京清掃労働組合主催の第三十三回組織集會が、箱根路開雲で開かれた。

東京清掃本部、各支部代表、地連、一組総支部、清掃関連協などが結集し、これまでの総括、今後の方針、作業計画や取り組みなどを議論、検討する内容の集會である。

席上、東京清掃労働組合西川委員長より、賃金問題、組織問題、すべての総括を踏まえ、議論を展開していく、そして難問を解決する組織のあり方について具体例を上げながら、三日間の

短い時間を有意義に活用し、今後の闘いに勝利しようという意気込みが、来賓挨拶や他都市労組組織の祝電が披露され、大島書記長の基調報告があり、賃金部長の報告の後、地連別の分散会、主に作業計画、配車、粗大委託の問題などが座長を中心に話しあった。二日目は、地連ごとの分散会、午後からは、一組総支部の分散会が開かれた。

内容は、アウトソーシング問題、人員問題、組織問題、職員採用や、工場実態、トレーニングセンターについて議論が集中し、当該支

部の意見なども述べられた。さらに、各支部役員の補充について、現行の役員が同年代のこともあり、次の組織を担う若手の育成や掘り起こしを行う必要があるとの議論が展開された。

三日目は、地連単位の分散会議論のまとめになった。各区交渉の進行状況や、作業計画の中身、サーマルリサイクルに関する作業実態、廃プラ問題など、現場における困難な対応などもまとめられた。近々に、本部より記録集として発行されるが、現状の困難性を当局に追求しなくてはならない。一組総支部も、組織構築に向けて、委託ありきの当局に即時撤回を要求し、新規人員の採用、直営堅持を訴える取り組みを行う。

一組総支部の分散会にて議論された主な内容

- 固有化職員の組織化状況
- 区派遣職員の組織化状況
- 予算要求
- 昇格
- 交渉等の周知方法
- 動員関係
- スポーツ活動、親睦交流
- 組合員からの意見等



一組総支部分散会

五月十四日に、一組総支部で申し入れを行い、人材育成に必要なトレーニングセンター設置に関する質問、要望、細目等についての当局の考え方が、明らかになってきた。検討中の事項もあるものの、現状の内容は、次のようである。

研修施設については、受け入れ可能な規模、シミュレーション設備を有する新江東清掃工場になること。

そのために、当該工場には極力負担をかけないようにする。

一組総支部が要望している、飯田橋の一組本庁付近には、トレーニングセンターの開設は困難であること。

メーカーとの調整や改修で最大限の効果を検討する。カリキュラム作成メンバーの過度の負担を減らすようにファイルサーバーを利用し、情報共有化を図り、会議の回数などを減らす処置を講じることや、OJTの重要性を認識して、二年間の人的処置を行う。トレーニングセンターの効果的な成果を得ること。

研修生の推薦などは、工場長と十分に相談をする等、考え方を含めての回答となっているが、新江東清掃工場の運転係、整備係と連携して研修するとすると、明らかに当該係の通常業務との関わりがあり、負担が増えることは懸念される。

さらに、技術実務を技能研修等とするならば、作業室の使用が前提となり、本務の整備係との共有が増える。やはり、研修場所の別途用意をすべきである。

今後の動き

- 現在の中央制御室のシミュレーションを別の場所に設置すべきなどが今後の課題や確認になる。
- さらに、このことが、労務管理強化にならないように入れる工場側の負担への対応について触れられている点、新たに新トレーニングセンターを造るべきの要望が困難との回答があるが、建設に向けた考えや計画の不十分なこと。
- 各支部や組合員も重大な関心を持っている清掃一組の緊急課題としての、技術、
- ①運転実習コース
 - ②危機管理シミュレーションコース
 - ③整備点検実習コース
 - ④設備技能実習コース
 - ⑤設計、工事、委託管理実習コース
 - ⑥分析業務実習コース
- しかし、各工場単位での作業内容は、若干の違いがあるのが事実であり、配属している職場での実習が効果的であるように思われる。実施に向けては、さらなる解明が必要である。

夏季休暇

六月十三日に、一組総支部常任委員による、本年度の夏季休暇改善要求の申し入れを行った。

それに対する考え方が示され、回答として、組合要求にある日数増は、困難な状況であり、規定の日数となる。定年前の職員は五日とし、七月一日より、九月三十日まで承認する。

短時間の再任用職員は、四日とし、再雇用職の月十六日勤務は四日、月十三日勤務職員は三日になる。

取り扱いは、日単位であるが二回を限度に半日単位も承認となった。

組合は、「完全取得ができる配慮を」と重ねて要望をした。

活動予定と日程

- 6月7日から9日まで
清掃本部組織集會
- 18日一組総支部執行委員会
- 25日一組総支部常任委員会
- 27日 一組総支部委員会

主な取り組み

専門委員会交渉、解明要求 文化厚生活動の推進、野球、ボウリング大会の実施、意見集約 組織対策、異動問題、安全衛生課題、昼休み搬入問題、職員互助について、労働災害、アウトソーシング、賃金問題、育児休暇等

えんとつ

若者の間では、アップルのIPODが音楽ツールとして不動の人気がある。そのアップルが、携帯電話とIPOD、マルチシステムを構築したiPhoneなるものを発売するという。前評判は上々と言うが、果たしてほんとに売れるのかどうか。と言うのは、私の無線仲間、アメリカのカサス育ちの同年代の友人がいるが、私の手の平の大きさ、小学生とおとなのおじさんの手ぐらいに違っている。日本では、小型



で薄型、軽くて高性能が主流の携帯電話事情である。確かにiPhoneは、高性能で最新技術の粋を集めたことは認めるが、大きさは、やはりアメリカンサイズさされているのです。

日本人の物好きは有名で、誰もが欲しいのは事実ですが、日本でのPDAがあまり普及していないのは、その大きさはないかと思う。料金も安いというが、ローン形式の料金体系であれば、安くできるのだから。

いろいろ考えて見たら、国内メーカーで、すでに発売機種があるようだが、ハードディスクを搭載した、薄型多機能小型携帯電話を、安く市場に出すよう願うのは私だけであろうか。

